

四国中央市 地球温暖化対策実行計画

(区域施策編)

令和5年3月

概要版

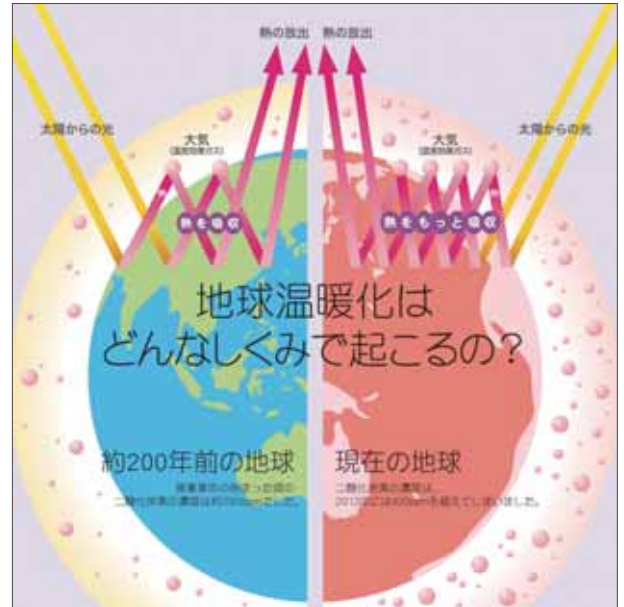
「日本一の紙のまち」の
カーボンニュートラル

The best paper city

地球温暖化問題

地球温暖化とは

地球の大気には、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスが含まれています。**温室効果ガス**は、太陽からの光で暖められた地表から放射される赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体です。**地球温暖化**は、この温室効果ガスの濃度が高くなることにより、地球表面の温度が上昇することをいいます。産業革命以降、人類の経済活動によって排出される温室効果ガスが増え、大気中の温室効果ガスの濃度が上昇し、地球温暖化が進んできました。

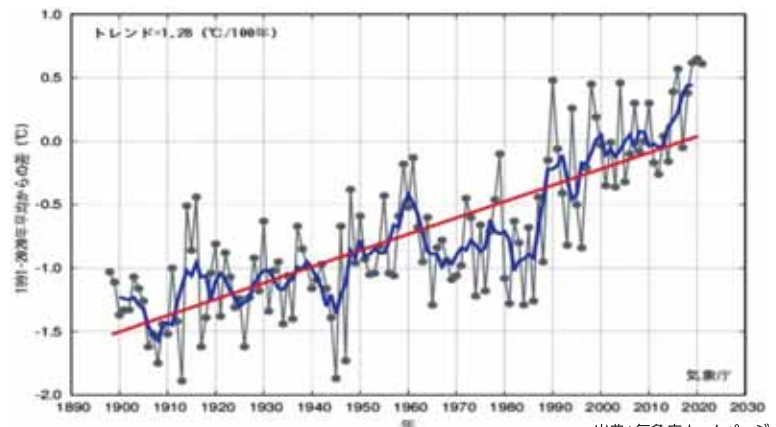


出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト

地球温暖化による影響

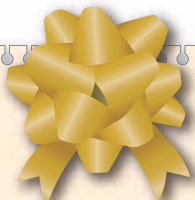
世界の平均気温は上昇傾向にあり、100年あたり0.73℃の割合で上昇しています。日本も同様に、年平均気温は上昇傾向にあり、**100年あたり1.28℃の割合で上昇**しています。これは世界の平均気温の上昇率に比べ高い割合となっています。

■日本の年平均気温偏差



出典：気象庁ホームページ

今後、温室効果ガス濃度がさらに上昇し続けると、気温はさらに上昇すると予測されています。



本市出身 真鍋淑郎博士 2021年ノーベル物理学賞受賞

二酸化炭素濃度が地球温暖化に影響することをいち早く問題提起し、地球の気候をコンピュータを用いて再現する方法を開発して、気候変動の予測に関する研究を先駆的に開発したことが高く評価されました。ノーベル賞の選考委員会は「現代の気象研究の基礎となった」と述べています。気象学の分野でノーベル物理学賞を受賞することは極めて異例のことで、世界を驚かせました。

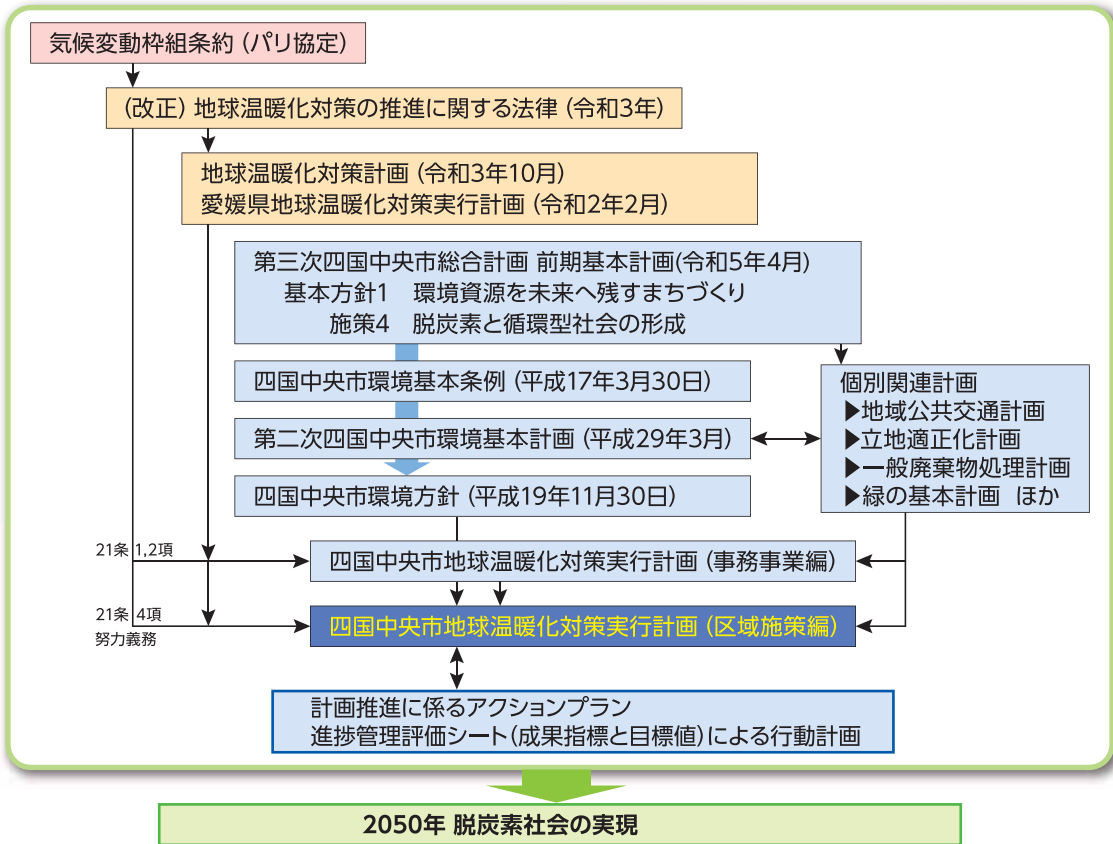
真鍋博士の研究によって、人間の活動が活発になるにつれて大量に放出された「温室効果ガス」が、地球全体の平均気温を急激に上昇させていることが世界の常識となりました。「地球を救う救世主」ともいえる真鍋博士の受賞を機に、私たちも気候変動問題を改めて見つめ直していきましょう。

計画の目的及び位置づけ

政府は、地球温暖化対策計画の改定を令和3年10月に閣議決定し、2050年カーボンニュートラル実現のための中期目標として、2030年度に2013年度から温室効果ガス排出量を46%削減する目標を設定しました。**愛媛県**においても、2050年カーボンニュートラルを実現するための計画が策定され、実施している状況です。

四国中央市においても、地球温暖化対策を推進するため、市全体での計画として区域施策編を策定し推進することとしました。

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）は、地球温暖化対策の推進に関する法律の第21条に基づいて、区域の自然的・社会的条件に応じて温室効果ガスの排出量の削減等を行うための施策に関する事項を定める計画です。また、本計画は、気候変動適応法第12条に基づく地域気候変動適応計画を兼ねるものとして策定し、関連する個別計画と連携して推進していきます。



削減目標

本市の目指す長期目標

2050年カーボンニュートラル社会の実現

本市の目指す中期目標

2030年度に2013年度比46%削減

本市は産業分野の温室効果ガス排出量が多い状況にあることから、産業分野については、愛媛県と市が一体となって、四国中央市**カーボンニュートラル協議会**と連携・支援することで、国の目標と同様に市の温室効果ガス排出量全体で46%削減を目指して取り組みます。

削減目標の達成に向けた **対策・施策**

基本方針

本計画を効果的に推進するため、本市の特徴を踏まえて、上位計画と連携して推進することとし、

「次世代を担う若者・子どもたちへの、美しい地球環境の伝承」

を基本方針とします。

本市では、手作りの和紙に始まり古くから紙関連産業が盛んにおこなわれ、現在は「**日本一の紙のまち**」に発展しています。また、気候学の分野で**ノーベル物理学賞を受賞**された真鍋博士の出身地でもあります。

これらの資産を次世代に引き継ぎさらなる発展を目指すために、環境と経済の好循環の達成に向けた取り組みを進め、環境保全と経済発展の同時達成による持続可能な社会への展開を推進します。

施策の体系

地球温暖化対策は、気候変動の原因となる温室効果ガスの排出量を削減するための**緩和策**と、気候変動の影響による被害の回避・軽減のための**適応策**の両輪で推進します。

■ 緩和策

基本施策	施策
省エネルギーの推進	● 省エネルギー行動の実施 ● 建物・設備等の脱炭素化
環境負荷の少ない交通の実現	● 移動の脱炭素化 ● 利用自動車の脱炭素化 ● 物流の脱炭素化
再生可能エネルギーの導入促進	● 太陽エネルギーの利用拡大 ● バイオマスエネルギーの導入 ● その他の再生可能エネルギーの導入促進 ● 水素社会実現に向けた取り組み
循環型社会の形成	● 循環経済(サーキュラーエコノミー)の形成 ● 適正な廃棄物処理の推進
緑化の推進(CO ₂ 吸収の促進)	● まちの緑化の推進 ● 森林の保全・育成・活用
環境教育・環境学習の充実	● 学校における環境教育の充実 ● 職場における環境教育の推進 ● 地域における環境学習の展開 ● 普及啓発の推進
四国中央市カーボンニュートラル協議会との連携	● 四国中央市カーボンニュートラル協議会との連携
経済振興による温暖化対策への貢献	● 経済振興による温暖化対策への貢献

■ 適応策

全対象分野

- 国や県の情報を収集し、市の内部で適応に関係する施策を推進するための体制を整備
- 環境教育などにより適応策について考える場を設け、市民や事業者の意識向上を促進 など

農業・林業・水産業

- 新たな適応品種の開発や栽培技術の開発、支援
- 病害虫の早期発見及び早期防除 など

水環境・水資源

- 渇水時の危機管理体制の整備、水の有効利用、雨水・再生水の利用、節水の普及等
- 堤防・護岸・水門等の海岸保全施設の整備、維持管理 など

自然生態系

- 希少生物の保護及び生息・生育域の保全
- 外来生物の適切な取り扱いに関する普及広報活動の強化

自然災害・沿岸域

- 重要水防箇所の把握と住民への周知
- ハザードマップ・浸水想定区域図等の作成や訓練の実施 など

健康

- 熱中症予防に関するパンフレットやポスター等による注意喚起
- 虫刺されに対する注意喚起

産業・経済活動

- 地球温暖化対策に貢献する環境ビジネスの検討及び企画の支援
- 四国中央市カーボンニュートラル協議会との連携

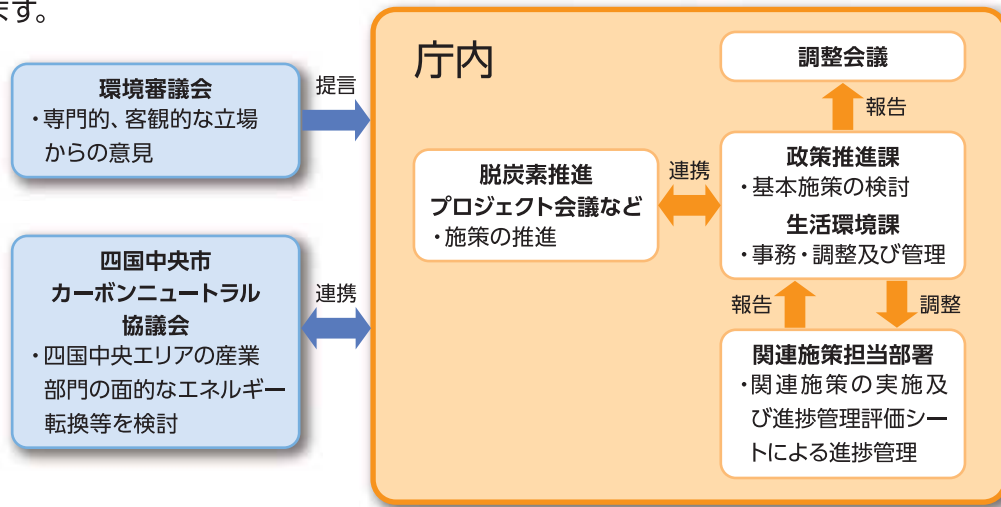
国民生活・都市生活

- 暑さから身を守る工夫(クールビズ等)の推進
- 都市緑地の整備の推進

計画の推進体制

市民・事業者・行政の連携と協働のもと、庁内では四国中央市政策推進課と生活環境課が中心となり脱炭素推進プロジェクト会議などを通じて関連施策担当部署と連携して施策を推進します。

さらに、四国中央市カーボンニュートラル協議会と連携して産業部門の脱炭素化を推進します。



【四国中央市カーボンニュートラル協議会】

カーボンニュートラル実現に向け、四国中央エリアの産業部門の面的なエネルギー転換等を検討していくために設立した協議会で、本計画を連携して進めます。

■四国中央市カーボンニュートラル協議会構成

位置付け	構成メンバー
幹事会員	大王製紙（株） 丸住製紙（株） 愛媛製紙（株）
一般会員	四国中央市に事業所を有するエネルギー需要家等
オブザーバー	行政：愛媛県、四国中央市 地域金融機関：（株）伊予銀行、（株）愛媛銀行 業界団体：愛媛県紙パルプ工業会
事務局	日本政策投資銀行（DBJ）グループ

計画の進行管理

「2050年カーボンニュートラル」を実現するためには、本計画に基づいて市民・事業者・市の各主体が地球温暖化を重要な課題として捉え、個別の取り組みや連携した取り組みを積極的に推進することが不可欠です。

地球温暖化対策計画策定後は、計画の推進状況の確認など、計画の実効性を確保していくために、進捗管理評価シート（成果指標と目標値）の活用など、本市の特徴を活かした施策の効果を定期的に把握・点検・評価し、継続的に改善を図っていくことが大切です。

未来の子どもたちに 今よりも又予寧な 四国中央市を届ける



四国中央市 〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号
政策部政策推進課 TEL.0896-28-6005 市民部生活環境課 0896-28-6145
<https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/>

